

議会報告会における市行政の要望・提言一覧

令和5年5月12日から5月31日にかけて開催した議会報告会において、ご意見・ご提言を頂戴しました。その内容につきまして、以下の通り情報提供いたします。

■5月12日（金） 1班 畑地区 みたけ会館
獣害対策について「サル追い払い対策」に公園の樹木伐採は非常に効果的であったので、今後とも電気柵設置への補助は続けて頂きたい。
つば市ダム周辺の管理について、今年も土曜日・日曜日になるとダム周辺では約20張りくらいのテントが設置され、キャンプ場になってしまっている。バーベキューなどの食事の生ゴミの始末も十分でないので、苦情がある。市は該当地のルール作りを行い、それを新たな掲示板として設置することを考えてほしい。
篠山中学の生徒の通学路について、王地山公園の山すそを通る通学路は道も狭く危険と思われるため、対処してほしい。
■5月26日（金） 1班 味間地区 四季の森会館西館研修室
少子化対策で現状を変更する予定はあるのか。子育て応援給付金もあるため、待機児童をなくす対策をとってほしい。
ベトナムなどアジアの国の人たちは独自のコミュニティを作っているが、地域住民が交流の場を作っても、外国の人たちは来てくれなかった。 言葉の通じない外国の人たち向けに、市の窓口には日本語への翻訳表を設置していたはずだが、今はないと思われるので復活させるべき。 弁天地区は付き合いのないアパートの賃貸住まいの人が多く、コミュニティがない。協議費はいただいているが、アパート管理者が戸数分をまとめて自治会に支払うので、誰が払っているのかも分からず、コミュニティ付き合いができない。市が「コミュニティの場・交流の場」を設けてほしい。
通勤が大変で不便だと感じる。電車の本数を増やしてくれるよう、JRに働きかけてほしい。 JR篠山口の西口が飲食店もなく寂しい。これから国際博と言っているのに、これではどうかと思う。
■5月31日（水） 2班 岡野地区 岡野文化会館
担い手不足を解決するのは現状ではなかなか困難であり、考えられるとすれば、さらなる機械化による作業の省力化などが挙げられる。 土地改良区のパイプラインがいつ故障してもおかしくない状況だ。故障するまでに対応してほしいが、その場合は誰が責任をもってやってくれるのか。
担い手不足ということだが、過日行われた地域の運動会には、例年になく多くの市職員が参加し、運営が大変スムーズにいった。 これからも地域の行事には、地域サポート職員に多くかかわってほしい。 もう一つは、医療介護についての担い手不足である。介護を担う働き手が非常に不足しており、このままでは介護業務が継続出来なくなる。特にケアマネジャーなどは取り合いの状態になっている。なんとか解決に向けて動いて欲しい。

要望：高齢者などの買い物弱者に対する支援や対策をしてほしい。

担い手の育成だが、ここにこういう人が欲しいという適材適所の人材が必要だ。農業で言えば、新規に農業者として市内入ってこられた方に適切な指導・助言のできる方の存在が担い手を育てていくのだと思う。

そういう意味での「マッチング」が大事だと思う。人と人を結びつけるコーディネート役の方がいて、さらに行政と地域が連携して担い手を育てる必要がある。

■5月24日（水） 2班 古市地区 古市コミュニティ消防センター

今田こども園整備については、防災の観点もあり、この事業が実施されたことは承知しているが、議会審議の中で、古市地区から今田保育園に子供を通わせている保護者の声を取り上げられることはあったのか。

南矢代、古市、草野などの駅周辺について、インフラ整備を求む。

古市地区には駅が多くあり、観光客には便利である。祭りは観光客など交流人口を増やすという観点で重要だと思う、コロナで疲弊した祭りの存続について、どのような対応で臨むのがよいのか。

古市には義士祭りなど3つの祭りがある。コロナで3年間祭りが出来てない。伝統を守るべきなのか、もう止めてしまうのか。

小学生が少なく、特にこども中心の祭りは存続が困難になっている。また、高齢化もさらに進んでいる。よその人に来てもらって続けていくのか、もう続けることが無理なのかと、いろいろと考える。

もし、続けるとすれば、祭りを古市地区全体で実施するとか、行政や議会が支援してくれるとかであれば継続できるかもしれない。

■5月15日（月） 2班 西紀北地区 しゃくなげ会館

桑原の現状は、限界集落に近づいており、多分2年後にはそうなる。農地の荒廃が進んでいる。荒廃を止める施策を考えて欲しい。例えば、太陽光発電は農業ではないが、農地の荒廃対策にはなる。導入しやすくなるよう補助金と条例についても検討してほしい。

市の東部地域と西紀北地区は重点施策対象になっていていろんな優遇措置が受けられる。交通費の補助などは良いと思うが、家を建てるなどの場合は、今後、制度を改善して欲しい。

例えば、最近では、地域以外から若い家族が古民家を改修してそこに住みたいという希望が増えているようだが、古民家改修には大きな費用が要る。私たちの地域としても子育て世帯に来てもらいたい。重点施策もそのような希望に対応できるよう改善し、もっと利用しやすくして欲しい。

担い手不足対策には次の4点が挙げられる。

1. 他地域からの協力を求める。
2. 自力で頑張る。
3. 機械などを使って対応する。
4. 止める。

他に協力を求める場合、何をしてもらうのか、例えば、若い人に草刈りをさせるのは日本の将来にとっても余り良いことではない。また、丹波篠山市がどういう方向を向いて進んで行こうとしているのか、明確なビジョンの提示が必要だ。私の子供が多紀こども園に通っているが、建物もスタッフの皆さんもとても良くてラッキーだったと思っている。

通ってみないと解らないのは残念だ。若い人の流入について、篠山が他市との差別化を図るなら、篠山の保育はこうですよという、おかあさん方に支持される特色を打ち出さないとなかなか集まらないと思う。国からの補助金メニューは各市とも大きな差はなく、施策も同様である。今の若い人たちはいろんな新しい取り組みを行っている。

■5月15日（月） 3班 城南地区 城南コミュニティセンター

田松川がよどみ宇土は浸水（田畑）となる。対策を行っていただきたい。

■5月19日（金） 3班 城北地区 玉水会館

山や田畑が負の財産化してきている。特に村の山林については顕著であり固定資産税の減免をしてほしい。

JRについて、事故後大阪までの時間が長くなったと感じている。短くならないのか。

■5月12日（金） 3班 大苧地区 大苧公民館

60歳でも現役消防団員であり、いつまでも辞められない。報酬を上げるより、消防団の合併を願いたい。

